

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

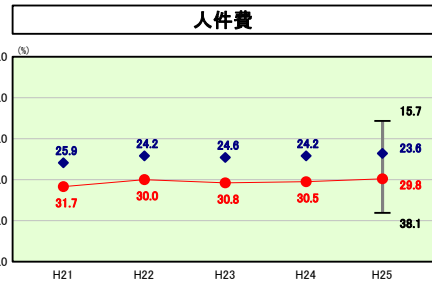
兵庫県猪名川町

経常収支比率の分析

人口	31,922	人(H26.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	31,775	人(H26.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	90.41	km ²	実質公債費比率	2.9	%
歳入総額	9,814,617	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	9,281,913	千円	市町村類型	H21 V-2 H22 V-2 H23 V-2	
実質収支	307,423	千円	(年度毎)	H24 V-2 H25 V-2	
標準財政規模	6,656,124	千円			

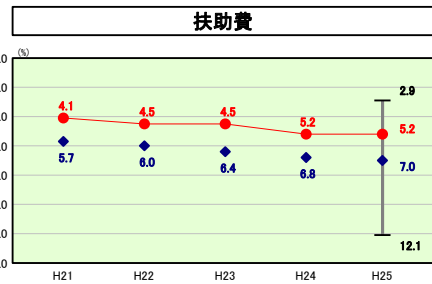


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。



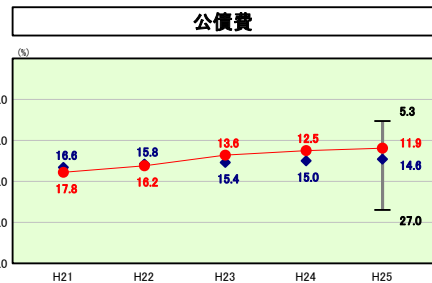
人件費の分析欄

人件費に対する経常収支比率は29.8%で、類似団体の23.6%より6.2ポイント高くなっています。これは、町単独消防本部の設置により職員数が類似団体平均と比較して多いことが主な要因であり、行政サービスの提供方法の差異によるものといえます。前年度と比較すると給与の減額措置などにより0.7ポイント改善しました。引き続き人件費を抑制し、経常収支比率改善に努めます。



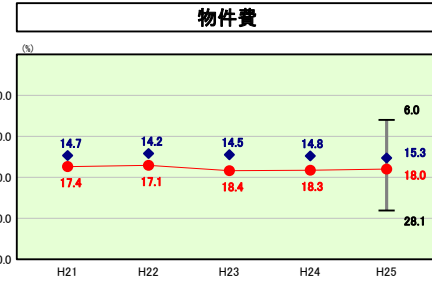
扶助費の分析欄

扶助費に対する経常収支比率は5.2%で、前年度と同率にとどまったことから、類似団体平均との差は0.2ポイント改善しています。類似団体平均と比較して良好であるといえますが、今後においても、これまで以上に社会保障関係経費の増加が予想されるため、財政を圧迫しないよう適正な事業実施に努めます。



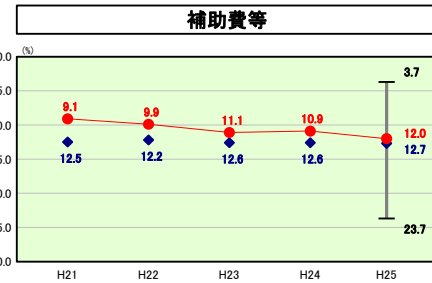
公債費の分析欄

公債費は11.9%となり、これまで実施してきた地方債発行抑制の効果により、前年度と比較して0.6ポイント減少、類似団体の14.6%と比較しても2.7ポイント低くなっています。国の経済対策で投資的事業が増加したものの、平成25年度は繰上償還をおこなったことで経常的な元利償還金、地方債残高ともに減少しました。今後も、将来世代に過度の負担を残さないよう、地方債借入抑制による財政の健全な運営に努めます。



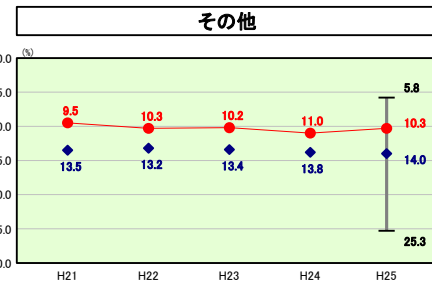
物件費の分析欄

物件費に対する経常収支比率は18.0%で、類似団体の15.3%と比較すると2.7ポイント高くなっているものの、前年度と比較すると児童保育の直営化による影響で0.3ポイント減少しています。引き続きコスト削減や事務の効率化を進め、健全な財政運営に努めます。



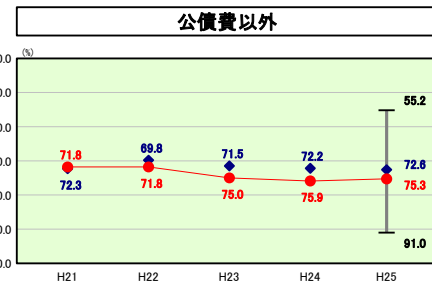
補助費等の分析欄

下水道事業会計補助金などの増加の影響から、補助費等に対する経常収支比率は12.0%と、前年度と比較して1.1ポイント増加しました。また、類似団体平均の12.7%と比較して0.7ポイント低くなっています。今後も補助金の必要性や効果などの評価、検証を行いながら過度の支出とならないように努めます。



その他の分析欄

その他は維持補修費0.9%と特別会計などへの繰入金9.4%の合計です。介護保険特別会計の介護サービスに係る給付費が増加している影響で、繰入金は前年度と比較して増加しましたが、維持補修費は経済対策により財源が確保できたことなどから、その他の経常収支比率は前年度と比較して0.7ポイント改善しました。



公債費以外の分析欄

人件費に対する経常収支比率が改善した影響から、経常収支比率87.2%から地方債返済に係る公債費11.9%を差し引いた公債費以外の経常収支比率についても、75.3%と前年度から0.6ポイント改善しました。類似団体平均の72.6%と比較すると2.7ポイント高くなっているため、今後も類似団体を上回っている人件費及び物件費について、歳出抑制に努めます。